



『図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2027』に込めた思い

株式会社帝国書院 第二編集室 地理班

本書は発刊以来、写真やコラムを中心としたビジュアルな紙面を通して、地域の暮らしや文化、世界の“いま”をわかりやすく読み取れるよう工夫して編集してまいりました。2025年度版では、地理総合の教科書に合わせた配列に再構成し、授業で使いやすい内容へと改訂いたしました。2027年度版でも最新の内容を加え、「**地理総合に最適な地誌資料集**」として、より使いやすい内容へと充実させております。また、先生方からご要望をいただいた、「**教師用紙面データ**」を Web サポートに新たに収録しました。生徒の皆様の世界の諸地域をより身近に感じながら、地理の面白さを実感していただきたいという思いを込めて、下記3点に力を入れてご審査用見本を作成いたしました。ご一読いただき、ご検討の参考としていただけましたら幸いです。

◆『図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2027』の特色

① 写真から、人々の暮らしの様子を感じることができる資料集

各地域冒頭の「**写真から読み解く地域の生活文化**」(全 11 地域掲載)では、見開き 2 ページ大の写真を用い、地域の暮らしや特色を印象的に学べるようにしています。また「食べ物」「衣服」「建物」などの着目点を示すことで、生徒の皆様が写真を見ながら地域の生活文化を読み取れるよう工夫しました。例えば p.148-149「**出店が立ち並ぶ広場(ドイツ、ドレスデン、12月)**」では、クリスマスマーケットの様子から、歴史や宗教に結び付いたヨーロッパの街並みや12月の気候などを読み解くことができます。さらに、QR コンテンツでは、写真と同じ場所の**動画も収録**しており、写真だけでは伝わりにくい現地の雰囲気や人々の営みを、より臨場感をもって学べるようにしました。



↑ p.148-149「出店が立ち並ぶ広場(ドイツ、ドレスデン、12月)」

② “いま”を知ること、地理の面白さを実感できる資料集

巻頭特集「世界の注目を集める半導体産業」(巻頭 1~2)では、最近よく耳にする半導体について、そもそも半導体とはなにかということをまず押さえながら、その重要性を日本と世界の産業のつながりの中で考えられるようにしました。ニュースで見聞きする話題を地理の学びと結びつけて理解できるため、生徒の皆様にとって現代世界をより身近に感じられる内容です。さらに、p.89「中国と周辺国・地域 NOW ページ」では、中国のドローン配達などの最新情勢を「“低空経済”産業」として取り上げ、技術革新が物流や都市の姿、人々の暮らしをどのように変えているのかを考えられるようにしています。また、p.136 ではコラム「ホルムズ海峡危機であらわになった中東依存」を新設し、2026年に勃発した中東危機が自分たちの身近な生活に与える影響について考えられるようにしています。世界の“いま”を具体的に学ぶことで、生徒の皆様が地理を単なる知識としてではなく、社会の動きや地域の変化を読み解く学びとして実感できるよう願っております。



↑巻頭 1-2「世界の注目を集める半導体産業」



↑p.89「世界が注目! 中国の“低空経済”産業」

③ 授業で使いやすい、学びやすい資料集

地理総合の教科書の流れに沿った配列としているため、必要な項目を見つけやすく、授業の進行に合わせて使いやすい構成です。学習項目が整理されているので、日々の授業はもちろん、定期テストの試験範囲も示しやすいとなっています。さらに、現代世界のあり様や地球的課題、自然環境と防災、GIS など、地理総合の学習に欠かせない内容を充実させ、生徒の皆様の理解を深めやすい資料集としました。

◆ おわりに

私ども編集部は、よりよい地理教材をめざし、今後も皆様のご意見に真摯に向き合いながら、内容の改善に努めてまいります。『図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2027』が、地理学習を支える一冊としてお役に立ちましたら幸いです。ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

本書には書籍版とクラウド配信版(デジタル資料集)のセット版もございますので、併せてご検討くださいませ。

クラウド配信版の詳細はこちらから▶

